

2026年1月30日

各 位

(経過開示) WOWBIT(WWB) トークンの Hyperliquid チェーン上発行および  
スポット上場支援に関するお知らせ

当社は、2026年1月27日付「(経過開示)DEX型Perpetual Market『Hyper NYAN』正式ローンチに関するお知らせ」にて既報のとおり、Hyperliquid チェーン上で「Hyper NYAN」を正式にローンチしております。

また、2026年1月22日付「(経過開示)Hyperliquid チェーン上DEX型 Perpetual Market『Hyper NYAN』開発完了およびローンチ予定に関するお知らせ」においては、WOWOBIT (WWB) につきまして、現時点では Hyperliquid Chain 上における取り扱い対象ではないものの、今後の開発状況や市場環境等を踏まえつつ、本プロダクトでの取り扱い可能性を含め検討してまいります、とお伝えしておりました。

The screenshot shows the HyperEVMScan interface for the token 0x000722d8e17d57E3982a5e11123b6dB798b3Fdfb. Key details include:

- Overview:** MAX TOTAL SUPPLY: 1 WWB, HOLDERS: 1, TOTAL TRANSFERS: 1.
- Market:** PRICE: \$0.00 @ 0.00000 HYPE, ONCHAIN MARKET CAP: 0, CIRCULATING SUPPLY MARKET CAP: 0.
- Other Info:** TOKEN CONTRACT (WITH 18 DECIMALS): 0x000722d8e17d57E3982a5e11123b6dB798b3Fdfb.

The transaction history table shows one transaction found:

Action	Block	Age	From	To	Amount	
0x86fe9554d7e...	0x6086040	25834867	32 secs ago	0x00000000...00000000	0x871f1bb...1867cC0B4	1

このたび、当社が展開する WWB 経済圏の中核トークンである「WOWBIT(WWB)」について、Hyperliquid チェーン上での発行（※画像）を開始し、さらに Hyperliquid 上のスポット市場（現物取引市場）への上場を支援することをお知らせいたします。

本取組みは、Hyperliquid エコシステムと当社が掲げる「ミーム × RWAfi」経済圏との連携強化を図るとともに、最終的には当社が支援する「Hyper NYAN」において、WWB の無期限先物取引(Perpetual Market)への対応を目指すものです。

## 1. 本取組みの意義

### ➤ WWB 経済圏の流動性拡大

Hyperliquid エコシステムへの参入により、WWB トークンはグローバルな分散型取引基盤へのアクセスを獲得いたします。

### ➤ 「Hyper NYAN」のディーリング基盤としての展開

2025 年 10 月 21 日付「[Hyperliquid チェーン上における DEX 型 Perpetual Market 実証実験成功のお知らせ](#)」にて既報のとおり、初期段階では、WWB 経済圏のトークン(WWB, ZMAT, AGF, NYAN)のみに対応し、最終的にはミームコイン、RWAfi、ステーブルコイン、ユーティリティトークンなど多様なアセットに対応した分散型トレーディングプラットフォームを目指しております。

本取組みはその実現に向けた重要なステップとなります。

### ➤ 分散型金融エコシステムの推進

本プロダクトは分散型・ノンカストディ設計となっており、当社および関係会社がユーザーの暗号資産、秘密鍵、個人情報等を管理または保管することはありません。

## 2. 事業体制および当社の立ち位置

本プロダクトの事業主体は、アラブ首長国連邦（ドバイ）に所在する法人（以下「ドバイ法人」）であり、当社は当該ドバイ法人との間で締結した匿名組合契約に基づき、本プロダクトに関与しております。なお、ドバイ法人及び匿名組合契約に関する情報等の開示に関しては、相手先のご意向により非開示となります。

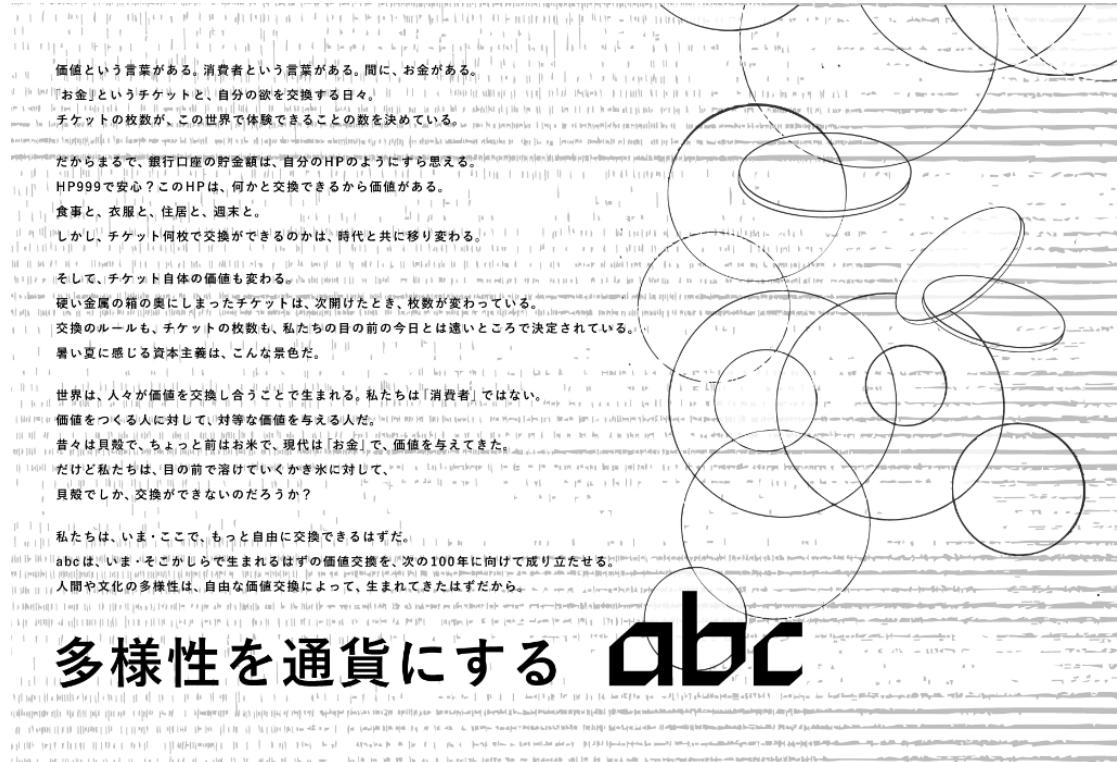
当社は、ドバイ法人に対し、技術開発に関する支援、ビジネスデベロップメント支援、マーケティングおよびエコシステム拡張支援を行う立場にあり、本プロダクトの運営主体ではありません。

また、本プロダクトは、当社が日本国内において暗号資産交換業を営むものではなく、資金決済法上の暗号資産交換業には該当いたしません。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



## ■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》  
abc 株式会社 経営企画部  
[pr@abc-chain.com](mailto:pr@abc-chain.com)

以上